

オ その他の式（算術式・論理式）

カ 外部手続き名（基本外部関数名、関数副プログラム名、サブルーチン副プログラム名）

なお、外部手続き名を実引数として使用した場合は、対応する仮引数も外部手続き名でなければならない。その名前は、その引用を含むプログラム単位内の EXTERNAL 文に書かなければならない。

〔例〕1

$x \leq 3.0$ のとき $f(x) = 0.25x + 0.5$
 $x > 3.0$ のとき $f(x) = 0.5x - 0.2$ } の関数副プログラムの定義と引用

```
DIMENSION X(10)
.....
P = P + F(A) ..... 実引数は変数名
Q = P * F(2.5) ..... " 定数
R = A - B / (C + F(A + B)) ..... " 算術式
S = F(X(5)) ..... " 配列要素名
.....
STOP
END

FUNCTION F(X)
IF(X.GT.3.0)GO TO 1
F = 0.25 * X + 0.5
RETURN
1 F = 0.5 * X - 0.2
RETURN
END
```

関数副プログラムを利用する主プログラム

関数 F(X) を定義する関数副プログラム

〔例〕2

二つの倍精度実数型の配列 A と配列 B との対応する要素の積の合計を求める関数副プログラムの定義と引用

```
DOUBLE PRECISION X(10), Y(10), P
.....
P = PROD(X, Y) ..... 実引数は配列名
.....
STOP
END
```

関数プログラムを引用する主プログラム